

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	両専攻 1年	科目コード	77921203
科目名	日本史学特論 Selected topics in Japanese History				
担当教員	二星 潤				
単位数(時間数)	選択 前期 2単位 (30時間)【学修単位】	学習・教育目標との対応			
授業の目的と概要	日本史の諸資料を解釈する方法を学んだ上で、自身で諸資料を解釈してプレゼンテーションをすることを通じて、日本史の特色についての認識を深めて歴史的思考力を培う。				
先修科目					
後修科目					
備考	履修条件として、歴史の基本的な知識(本科1年「世界史」・2年「日本史」レベル)を持っていることが望ましい。それらの知識が不足している場合は、各自が事前に補っておく必要がある。				
	授業項目	時間	内容		
1	1. 日本史の学び方	2	1. 日本史を学ぶ目的を考える。		
2	2. 日本史の史料(1)	2	2. 日本史の史料の特徴について学ぶ。		
3	3. 日本史の史料(2)	2	3. 日本史の史料の扱い方について学ぶ。		
4	4. 古代の寺社(1)	2	4. 東大寺などの寺社の建築を学ぶ。		
5	5. 古代の寺社(2)	2	5. 東大寺の大仏造営を学ぶ。		
6	6. 古代の寺社(3)	2	6. 東大寺や大仏が作られた歴史的背景を知る。		
7	7. 古代の都(1)	2	7. 平城京以前の都について学ぶ。		
8	8. 古代の都(2)	2	8. 長岡京と平安京の造営について学ぶ。		
9	9. 古代の都(3)	2	9. 古代の都が作られた歴史的背景を知る。		
10	10. プレゼンテーション(1)	2	10. 学生によるプレゼンテーションと質疑応答を行う。		
11	11. プレゼンテーション(2)	2	11. 学生によるプレゼンテーションと質疑応答を行う。		
12	12. プレゼンテーション(3)	2	12. 学生によるプレゼンテーションと質疑応答を行う。		
13	13. プレゼンテーション(4)	2	13. 学生によるプレゼンテーションと質疑応答を行う。		
14	14. プレゼンテーション(5)	2	14. 学生によるプレゼンテーションと質疑応答を行う。		
15	15. まとめ	2	15. 日本史の特色は何かを考える。		
前期期末試験					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	授業の内容と配布資料の情報を関連づけて理解した上で、論述問題をまとめることができることにより、学習・教育目標の(A-1)の達成とする。				
成績評価	期末試験(70%)とプレゼンテーション(30%)で(A-1)を評価し、6割以上の得点で合格とする。				
教材	教科書: プリントを配布する。 参考書: 授業で随時紹介する。				
オフィスアワー	木曜日 16:00 ~ 17:00, 管理・一般科棟3F西 二星潤教員室				